

取扱いの趣旨

歯の亜脱臼は、外傷等によって歯が不完全に脱臼し動揺している状態を示しており、う蝕処置の算定にあたっては、処置が必要とされる傷病名の記載が適切であることから、「歯の亜脱臼」でう蝕処置の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【処置】 《令和3年9月27日》

183 う蝕処置③

○ 取扱い

原則として、「歯の亜脱臼」病名で、う蝕処置の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

歯の亜脱臼は、外傷等によって歯が不完全に脱臼し動揺している状態を示しているため、算定にあたっては、う蝕処置が必要とされる傷病名の記載が適切である。

グラフの見方

検証不要(少数事例)

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

う蝕処置を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（歯の亜脱臼に対してう蝕処置を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、う蝕処置が査定・返戻となった割合

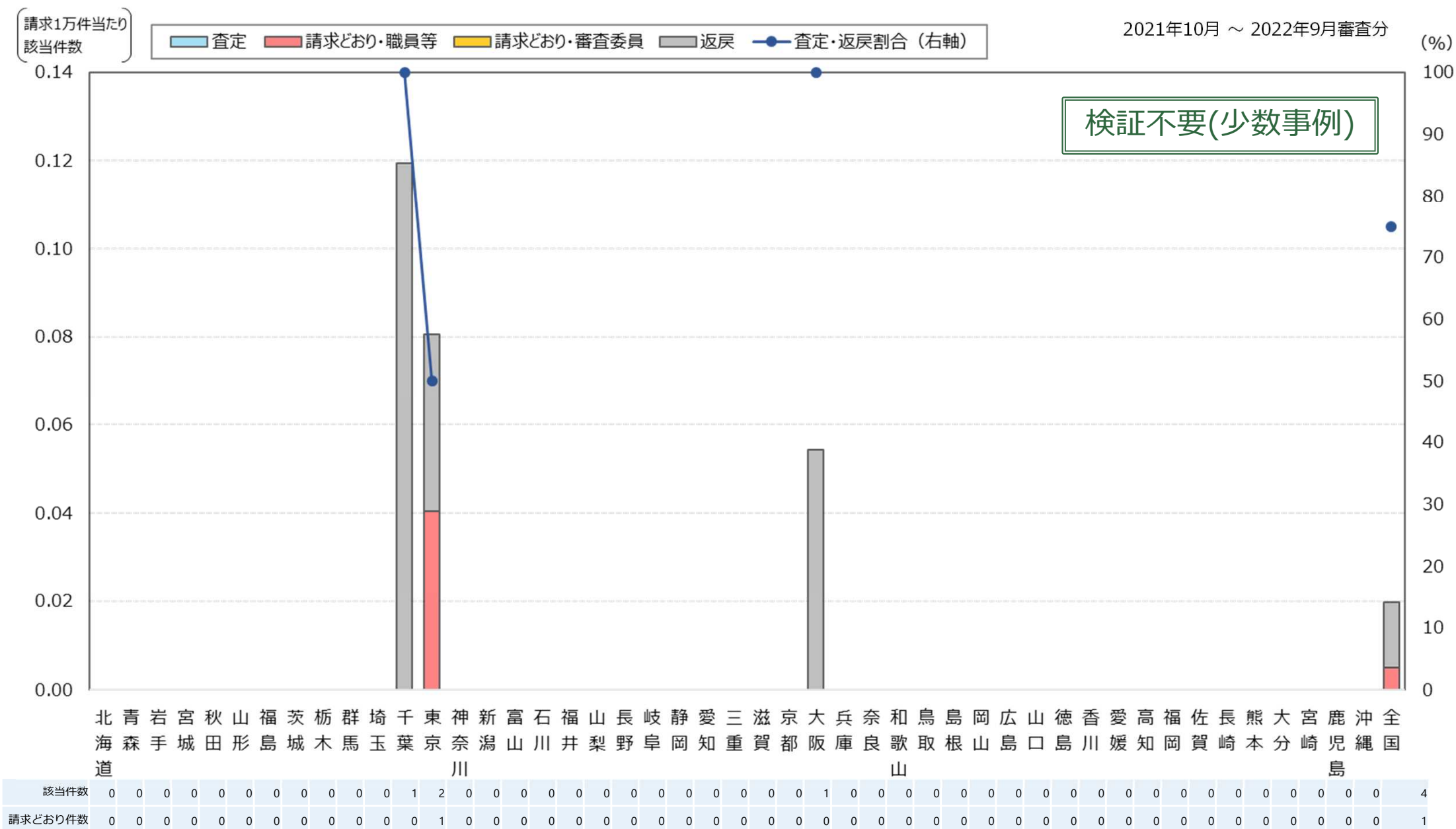
【棒グラフ凡例】 審査の結果

| | | |
|--------------|---------------|----------|
| 査定 | 返戻 | : 取扱いどおり |
| 請求どおり 職員等 | 請求どおり 審査委員 | : 検証が必要 |

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 75.00%
- 検証を必要とする都道府県 0

| 検証観点 | 検証を要する都道府県 | 備考 |
|----------------|------------------|----------------|
| 査定・返戻割合が低い都道府県 | | 査定・返戻割合の低い順 |
| 請求どおり・職員等 | | 対象1万件当たり件数の多い順 |
| 請求どおり・審査委員 | | // |
| 該当件数（全国） | 歯の亜脱臼に対してう蝕処置を算定 | 4件 |
| 取扱いに基づく審査 | 査定・返戻の計 | 3件 |
| 検証を必要とする審査 | 請求どおり | 1件 |



【該当件数】 歯の亜脱臼に対してう蝕処置を算定しているレセプト件数